

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	伝統産業振興事業			事業番号	015-020
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	地域産業課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(5) 伝統産業のブランド力向上による活性化		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①伝統産業のブランド化					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺伝統産業会館などにおける伝統産品などの年間売上金額					
		寄与するKPI	有	現状値	123,541千円(5年(2015～19年度)の年間平均)	目標値	200,000千円(2025年度)			
			有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も		ターゲット	8.9		
			有	取組	伝統産業のブランド力向上による活性化					
			有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画		堺産業戦略							
3	事業開始年度		昭和 58 年度			点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		堺市伝統産業後継者育成事業補助金交付要綱 等							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		伝統産業事業者（90者）、産地組合（6団体）、市民					対象数	単位	
								-	-	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		需要減退、後継者確保難、認知度の低迷等の課題を抱える伝統産業事業者に対し、伝統産品の需要開拓や後継者育成等の振興施策を実施し、伝統産業のブランド力の向上や、産業として次世代へ継承することを目的とする。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		①伝統産業のブランド創出促進のための施策 ②販路開拓や技能継承に取り組む産地組合等への補助 ③後継者を育成する伝統産業事業者への補助 ④伝統産業若手異業種交流会の開催 ⑤製造工程の見学や体験をしてもらうための環境整備にかかる経費への補助 ⑥卓越した技術をもつマイスター（職人）の認定 ⑦ツアー・オブ・ジャパン堺ステージの開催							
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		市内企業等							
10	公民連携・協働事業									

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	堺伝統産業会館運営による販売額		万円	目標値	11,000	12,500	14,000	17,500
				実績値	3,068	11,026		
	当該指標を選定した理由		当該指標は、伝統産業のブランド力の向上につながり、本事業の成果指標として測ることができるため。（基本計画KPI）					
	目標値の設定根拠・算出方法		堺伝統産業会館のショップやネットショップ等による販売額					
12	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績		目標		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	伝統産業のブランド創出促進に取り組む事業者数		者	目標値	5	7	7	
				実績値	7	7		
	当該指標を選定した理由		伝統産業のブランド化に向けて取り組む事業者が増加することが、成果指標達成につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法		堺市伝統産業ブランド創出促進事業への参加事業者数					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	伝統産業振興事業	事業番号	015-020
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	19,648	22,658	58,367	22,977	70,938	
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (産業活性化基金繰入金、JKA補助金、ツアー・オープン・ジャパン堺ステージ応援指定寄付金)			18,090		20,100
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	19,648	22,658	40,277	22,977	50,838	
14 人件費 (b)	10,660	14,760	14,760	14,760	16,200	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	30,308	37,418	73,127	37,737	87,138	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
事業費内訳	R4 決算	4,000	4,000	堺市伝統産業異業種連携（商品開発・販路開拓）チャレンジ補助金	R4 決算	0	0
					R5 予算	34,425	24,325
	R4 決算	5,750	5,750	市民・企業等が行う伝統産品活用・発信促進補助金	R4 決算	0	0
					R5 予算	10,000	10,000
	R4 決算	7,953	7,953	伝統的工芸品産業振興協会賛助会費	R4 決算	50	50
					R5 予算	8,000	8,000
	R4 決算	2,841	2,841	その他（委員報酬など）	R4 決算	1,153	1,153
					R5 予算	3,765	3,765
	R4 決算	1,230	1,230		R4 決算		
					R5 予算	2,000	2,000

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 堺伝統産業会館における販売額	万円	3,068	11,026
② 上記①にかかる年間経費	千円	29,933	30,544
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	9,757	2,770

備考（算出についての説明等） 伝統産業のブランド化を推進するための事業経費+人件費

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

令和4年度は、堺伝統産業会館の販売額は目標額に至らなかったものの、施設のリニューアル（R2年度～R3年度）を行い、販売においては商品を選びやすく買いやすい動線に改善し、PRにおいては歴史、製造工程などを分かりやすく展示したことに加え、実演・体験を強化。さらに、施設名称・ロゴを「堺伝統産業会館」から「堺伝匠館」とするなどリブランディングしたことにより、売上が向上したため単位当たり経費は大幅に改善された。

また、堺の伝統産品や伝統産品の魅力を引き立てる逸品を募集しブランドとして認定し、ターゲット層のいる首都圏等やSNSでの情報発信を行う取組や、職人の技や製造現場などの見学や体験を行い伝統産業を身近に感じてもらうオープンファクトリーへの取組や後継者育成事業者の輩出など伝統産業の振興に努めている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

本事業は、基本計画における戦略「1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～」の「(5) 伝統産業のブランド力向上による活性化」に寄与する事業であり、伝統産業のブランド力向上を図るため、堺の伝統産品や伝統産品の魅力を引き立てる逸品を募集しブランドとして認定し、ターゲット層のいる首都圏での販売や催事、SNSを活用した情報発信を行い、堺の認知度向上につながる取組を実施した。併せて、職人の技や製造現場などの見学や体験を行い伝統産業を身近に感じてもらうオープンファクトリーへの取組を支援し、伝統産業の持続的発展のために後継者への育成を支援した。

堺伝匠館のリニューアルオープン、オンラインショップの改善、SNS等での発信強化に加え、欧米を中心としたインバウンドが回復基調にあり、売上がコロナ禍前の水準に回復した。さらに、さかい利晶の杜、観光案内所、ピジターセンターについてもコロナによる行動制限がなくなり観光客が増えたため、これら施設を合わせた売上が149,129千円となり、「堺市基本計画2025」における2022年度の目標（14,750千円）の達成につながった。

令和5年度からは、上記取組に加え、異業種連携による商品開発や販路開拓、市民団体や企業が取組む伝統産品の魅力発信などの支援を行うことで、伝統産業のブランド化を加速させる。